

編集室

* 今月号の特集を企画するに至った経緯とその意図するところを編集室の誌面を借りて簡単に紹介する。

* 電子情報通信学会の会誌編集作業は、専門分野に従って四つのグループに分かれて、グループごとに編集作業を行い、それらの取りまとめを全体会議で行う段取りで進められている。特集記事もその慣例に従い、グループごとでのテーマを選択して、記事をまとめることになっている。特に、今月号の特集は、2年に一度、約80ページの紙面を使って一つのテーマの下に記事をまとめるものであり、グループでの編集作業の中でも一番の大仕事であるといえる。このような大きな特集をまとめるにあたり、一番肝になるのが、テーマ決めであることは異論のないところであろう。今回の特集のテーマを決めるにあたり、最初のたたき台として三つのテーマが候補として挙がり、話し合いの結果、今回の特集テーマ「人間を理解するICT技術」を選択するに至った。ちなみに今回採用を見送った残りの二つのテーマ候補は、「符号化技術」、「メディア解析技術」で、これらもなかなか魅力的なテーマであるので、機会があればぜひ取り上げたいと思う。

* さて「人間を理解するICT技術」である。非常に大きなテーマであり、特集では、基礎から応用までの広範囲の分野にわたって人間工学的な視点を中心とした最先端の科学技術の紹介を行うことにした。コンピュータやインターネットでの大量のデータを扱う情報処理分野では、使い手である人間の存在が大きく意識され、人間の営みを科学的に理解して応用することが重要となってきた。ただし、人間を理解して情報処理に生かすといっても、そもそも人間自体にはまだまだ解明しなくてはならない部分が多くあり、研究の余地が多く残る分野である。そこで、情報流通が発達した現代における人間に関係するところのICTを出来る限り余すことなく紹介しようというのが、今回の特集号を企画した動機である。特集では、多岐にわたるテーマごとにそれぞれの分野の第一線で御活躍している方々に記事の執筆をお願いした。これらの掲載した記事が読者諸兄の興味をかき立てるものであることを心から願っている。

(編集特別幹事 苗村昌秀)

* この原稿を書いているのは3月11日です。14時46分頃に市の防災無線による呼び掛けがあり、1分間の黙とうを捧げました。お亡くなりになった方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

* 皆様は当時どのようにお過ごしでしたでしょうか。学会シーズンでもあり出張していた方は多かったと思います。後期日程入試の前日でもありました。皆様一人一人が様々な体験をされたことと思います。時には後生に語り継ぐ必要もあるでしょう。

* 当時私が非常に気になったことの一つは、単位の扱い方でした。日頃なじみのないベクレル (Bq) やシーベルト (Sv) などがテレビで放送されておりました。なじみがないのは仕方ありません。しかし、正しい単位の使い方がなされているとは余り思われませんでした。シーベルトも、そのままなのか1時間当りなのか1年間なのか、あいまいなまま使われていた例が多く気になりました。大文字小文字も正しく書かれていないことがありました。理系ならば皆さん気持悪さを感じていたことと思います。単位が怪しければ当然比較も解釈も判断もできなくなります。

* 理系なら授業や実験・実習で単位の重要性はたたき込まれ、実践しているはずですが、残念ながら適切な助言ができる人がいなかったのでしょうか。混乱を引き起こした一要因といえると思われます。学生には正しく単位を使ってほしいと思っていますが、これがなかなか思うようにいかず、提出されたレポートを直す日々です。

* 単位について、我々でも時々意識をする場面があります。大分前ですが、気圧の単位がミリバール (mbar) からヘクトパスカル (hPa) に変わりました。このときは数値が変わらないように単位を選んだためほとんど混乱はなかったと思います。また、高圧ガスの圧力計の単位が kg/cm^2 からメガパスカル (MPa) に、真空計の単位がトル (Torr) からパスカル (Pa) に変わりました。メータに両単位が併記されていることもあります。これは数値が異なるので換算しなければなりません。ついつい以前の単位を使ってしまうこともあります。学生の頃、電磁気の講義でCGS単位系をよく使う先生がいましたが、慣れた単位を使う気持ちがよく分かります。

* 尺貫法やヤード・ポンド法が今でも使われている場合もありますから世の中は複雑です。同じ圧力でいえば、血圧は相変わらず水銀柱 (mmHg) ですね。これは計算に使うことが少なく、独立しているためパスカルにする必要がさほどないからなのでしょう。余りにも浸透しているため単位すらいいません。「最高血圧120」とかですから。

* 最近では自動車の出力の単位が馬力からキロワット (kW) に、トルクの単位が $\text{kg}\cdot\text{m}$ から $\text{N}\cdot\text{m}$ に変わりつつあります。「昔はね…」と話すことが多くなった私も古い人間の仲間入りをしているようです。

(編集特別幹事 石井孝明)